

みずほCustomer Desk Report 2016/05/23 号(As of 2016/05/20)

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	USD/CHF	公示仲値 GBP/USD	110.09 AUD/USD
TKY 9:00AM	109.92	1.1202	123.13	0.9908	1.4597	0.7231
SYD-NY High	110.59	1.1238	124.05	0.9925	1.4613	0.7250
SYD-NY Low	109.86	1.1197	123.11	0.9897	1.4488	0.7211
NY 5:00 PM	110.22	1.1224	123.62	0.9902	1.4504	0.7225
USD/JPY Volatility 1M ATM (NY Close Lvl)	10.87/11.325		△25RR	0.338	Yen Call Over	
NY DOW	17,500.94	65.54	債券市場	日本2年債	-0.2440	▲1.9bp
NASDAQ	4,769.56	57.02		日本10年債	-0.1130	▲4.8bp
S&P	2,052.32	12.28		米国2年債	0.8763	▲0.6bp
日経平均	16,736.35	89.69		米国5年債	1.3618	▲1.3bp
TOPIX	1,343.40	6.84		米国10年債	1.8384	▲1.0bp
シカゴ日経先物	16,740	130.00	為替市況	独10年債	0.1650	▲0.5bp
ロンドンFT	6,156.32	102.97		英10年債	1.4520	1.3bp
DAX	9,916.02	120.13		豪10年債	2.3030	▲4.6bp
ハンセン指数	19,852.20	157.87		USD/CNH	6.5645	0.0018
上海総合	2,825.48	18.58		ドルインデックス	95.33	0.05
USDJPY 3M Vol	10.75	▲0.50%	商品市況	CRB指数	184.207	0.32
USDJPY 6M Vol	10.77	▲0.27%		NY金	1,252.900	▲1.90
EURJPY 3M Vol	11.37	▲0.58%		WTI	48.410	▲0.26
EURJPY 6M Vol	11.17	▲0.27%		Dubai Spot	45.69	1.32

【昨日の指標等】

Date	Time	Event		結果	予想
5月20日	17:00	欧	経常収支(季調済)	3月 27.3B	-
	21:30	加	小売売上高・除く自動車(前月比)	3月 -0.3%	-0.4%
	21:30	加	CPI/CPIコア(前年比)	4月 1.7%/2.2%	1.7%/2.0%
	22:00	米	タルーロFRB理事 講演	-	-
	23:00	米	中古住宅販売件数	4月 5.45M	5.40M
	-	-	G7財務相・中銀総会議(～21日)	-	-

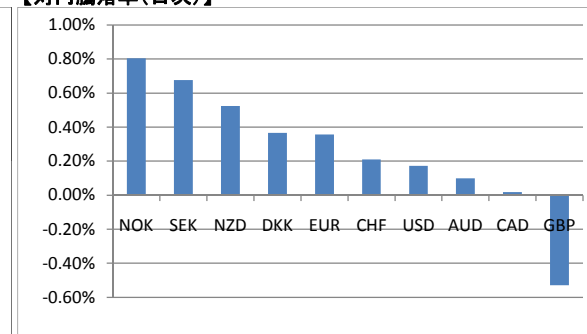
【本日の予定】

Date	Time	Event		予想	前回
5月23日	8:50	日	貿易収支	4月 ¥540.0B	¥754.2B
	16:30	独	マークイット製造業/サービス業PMI(速報値)	5月 52.0/54.6	51.8/54.5
	17:00	欧	マークイット製造業/サービス業PMI(速報値)	5月 51.9/53.2	51.7/53.1
	19:15	米	ブラッド・セントルイス連銀総裁講演	-	-
	21:00	米	ウィリアムズ・サンフランシスコ連銀総裁講演	-	-
	22:45	米	マークイット製造業PMI(速報値)	4月 51.0	50.8
	23:00	欧	消費者信頼感指数(速報値)	5月 -9.0	-9.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	109.80~110.50	1.1150~1.1250	123.00~124.00

【マーケット・インプレッション】

先週金曜日の海外市場は、米利上げ期待からドル円は堅調に推移の中、発表された米中古住宅販売件数が市場予想を上回ったことで110.59まで上昇したが、将来の緩和的な政策終了で大規模な国債保有の損失が生じることに備え、日銀は4500億以下の引当金を積むと報じられたことで、円買戻しが強まり、その後も週末を控えたポジション調整と思われるドル売りに110円前半まで売り込まれてクローズした。週末のG7では為替通貨安誘導をけん制するコメントも出たが相場への影響はなし。本日は、米利上げ期待先行から、ドル円は底堅い展開が予想されるものの、週末のサミットを控え、レンジは小幅なものになると予想する。

東京	東京時間のドル円は109.92レベルでオープン。オープン後に一時安値109.86を付ける場面が見られたものの、ここもと俄かに高まっている米国の6月利上げ期待が下値を支える中、本日から開幕するG7財務相・中銀総裁会議の内容を待ちたいとの雰囲気もあり、110円近辺で方向感の出づかい展開が継続。午後に入り、21日に麻生財務相とルー米財務長官が会談を行なうとのヘッドラインが伝わり、ドル円は110.15近辺まで上昇する場面が見られたものの、値動きはあくまで一時的。その後、日経平均株価が小幅に上昇したことを受けて、ドル円もやや連れ高となり、110.19レベルで海外市場に渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン時間のドル円は堅調に推移。110.19レベルでオープン後、G7財務省・中央銀行総裁会議の中での麻生財務相の「為替相場は安定が極めて重要」や「財政出動や規制緩和を検討」、ルー米財務長官の「引き続き為替は秩序だった状況と認識」等の発言が伝わるも影響は限定的。東京時間からのドル買いの流れを引き継ぎ、110.34レベルでNYに渡った。ユーロは小幅上昇。1.1208レベルでオープン後、独、仏国債金利の上昇を背景に底堅い値動きとなり、1.1221レベルでNYに渡った。(ロンドン17:00)
ニューヨーク	NY時間のドル円は110.34レベルでオープン。朝方はドル売りが先行するが、クロス円の買いにドル円は値動きを挟まれ、狭いレンジ内の推移が続く。その後はドル買いが優勢となり、発表された米4月中古住宅販売件数が予想を上回ったことから一時110.59まで上昇。しかし本邦一部報道において、日銀が将来の緩和的な政策終了で大規模な国債保有の損失が生じることに備え、4500億以下の引当金を積むと報じたことから円の買戻しが強まり、その後も週末を控えたポジション調整と思われるドル売りが優勢となったことから110.08まで下落し、110.22レベルでクローズした。一方、ユーロは1.1221レベルでNYオープン。朝方はドル売りが先行したことから1.1238まで上昇するが、その後はドル買戻しが優勢となると1.1204まで反落。その後は1.1210付近で狭いレンジ内の推移が続くが、午後に入り、週末を控えたドル売り優勢の地合となると1.1228まで上昇し、結局1.1224レベルでクローズした。(NY 00:53 113 682 並上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。